

審査項目		審査基準	配点
1 働きやすい（定着率の向上）			
101	従業員の年間総純労働時間（有給休暇、欠勤控除）	正社員の 8 割以上が 2,080 時間未満	10
102	テレ・在宅ワーク or 正社員短時間勤務 or フレックス勤務の利用	いずれかを利用した人がいる（過去 5 年間）	10
103	有給休暇の取得	10 日以上付与した全従業員が年間 5 日以上取得	☐
104	育児休業・介護休業の取得	取得実績（または対象者なし）に加え、令和 7 年育児介護休業法改正による義務化への対応状況	☐
105	仕事時間の融通が利く（子どもの発熱、学び直し、介護や葬祭などの際に配慮される等）※Q2S1	従業員全体の 2 / 3 以上の評価、かつ、男性・女性従業員双方の 2 / 3 以上の評価（アンケート）	☐
106	従業員が働きやすい職場だと評価している※Q1	〃	☐
2 働きがいがある（モチベーションの向上）			
201	従業員が会社の方針、目標を理解している※Q4S2	従業員全体の 2 / 3 以上の評価、かつ、男性・女性従業員双方の 2 / 3 以上の評価（アンケート）	10
202	職場のコミュニケーションが活発で、関係性が良い※Q4S3	〃	10
203	上司、経営者等が従業員の声に耳を傾けてくれる※Q4S4	〃	10
204	従業員が仕事を通じて成長を実感している※Q4S5	〃	10
205	多様な働き方が受容され、働き方でなく成果等働きぶりによって評価される※Q4S6	〃	10
206	体系的な研修制度が整い、実施され、従業員が参加している	新入社員研修以外に制度に基づいた研修実績、参加がある（過去 3 年間）	10
207	従業員が働きがいのある職場だと評価している※Q3	従業員全体の 2 / 3 以上の評価、かつ、男性・女性従業員双方の 2 / 3 以上の評価（アンケート）	☐
3 性別役割分担意識にとらわれない（意識の変化）			
301	WI 戦略「ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている」取り組み	積極的・具体的に取り組んでいる	☐
302	人事評価制度が明文化されている	明文化された制度があり従業員に周知されている	☐
303	従業員が人事評価に納得している※Q6S1	従業員全体の 2 / 3 以上の評価、かつ、男性・女性従業員双方の 2 / 3 以上の評価（アンケート）	10
304	従業員が待遇に納得している※Q6S2	〃	10
305	従業員における女性の比率が一定以上である	業種別平均値の 1/3 以上（女性従業員数の下限 3 人）	☐
306	上司層の中に女性がいる	女性の上司層の存在	10
307	女性上司層の目標値が共有されている or 上司層における男女比率が従業員の男女比率と同等以上（いずれか）	目標値が社内で共有されている or 上司層の女性比率 ≥ 従業員の女性比率×80％ ※女性比率で審査する場合、5 割を満たしていればクリア	☐
308	男性の育児休業取得者がいる（女性のみの事業者の場合は、女性の育休取得率が 100％である）	5 日以上取得者の存在（過去 5 年間）※会社独自の休暇制度を考慮	10
309	（新規追加） 雇用形態・性別による待遇格差の是正および情報公表	パート・有期雇用労働者に対する基本給・手当・福利厚生等の待遇差について、合理的な説明・見直しを行う取り組みや確認体制がある（※従業員 101 人以上の企業においては、男女間賃金格差および女性管理職比率の公表状況もあわせて確認する）	10
4 その他			
401	応募動機と実践内容・WI 戦略の趣旨に整合性がある	何を目指し、何に取り組んでいるのか など	☐
402	事業の継続性に重大な懸念がない	恒常的な赤字体質、債務超過など	☐
403	重大な労務関係法令違反がない	えるぼし認定の基準（勧告、送検公表、企業名公表など）	☐
404	ハラスメント対策が取られている	相談窓口の設置・外部への委託など（社内ハラスメントに加え、カスハラ・就活生ハラスメント等の防止・相談体制への配慮含む）	☐
405	違和感のある離職がない	大量退職、1 年以内に新人の半数退職など	☐
406	従業員の年間総純労働時間（有給休暇・欠勤控除）	正社員の 9 割以上が 2,440 時間未満	☐
407	男女別のトイレ・更衣室の設置	存在する（改修予定ありも OK）	☐
408	従業員アンケートの回収率	80%以上（学生・短期アルバイトを除く）	☐
409	暴力団等でない。暴力団等とかかわりがない	豊岡市の契約の基準	☐
5 審査員の総合評価			30

配点欄 □：必須 数字：加点

※アンケート項目（加点項目）は、基準に満たない場合でも、「従業員全体の 1 / 2 以上の評価、かつ、男性・女性従業員双方の 1 / 2 以上の評価」で、配点の半分を加点。

表彰対象：必須すべてで基準満たす + 加点が 120 点以上（満点 160 点）

※赤字については 2026 年度において、審査項目の追加及び審査基準の追加（変更）を行った箇所となります。